

温泉成分が濃縮された フアングゴで湯治

三楽園 ■富山県

名湯が作るフアングゴとヘルシー懐石で体の中から美しく

春は桜色に、夏は新緑、朱や黄金色に色づく秋、冬は真っ白な雪が木々を覆う庄川温泉郷。この絵画のような風景を望む「三楽園」は、日本で唯一フアングゴを使った湯治を提案する宿です。フアングゴとは、温泉泥を用いた温泉療法で、イタリヤでは公的な保険が適用されるほど一般的。イタリヤの名湯アバノのフアングゴセラピーに倣い、能登の珪藻土などを使って作られたのが「庄川バイオフアングゴ」です。自家源泉を三週間かけ流して熟成させたフアングゴを体の関節を中心に塗布すると、体の芯から温まり、冷え性や婦人病、セルライト解消に効果を発揮。ハンドマッサージを組み合わせれば、脂肪燃焼効果も期待できるといいます。泥で体

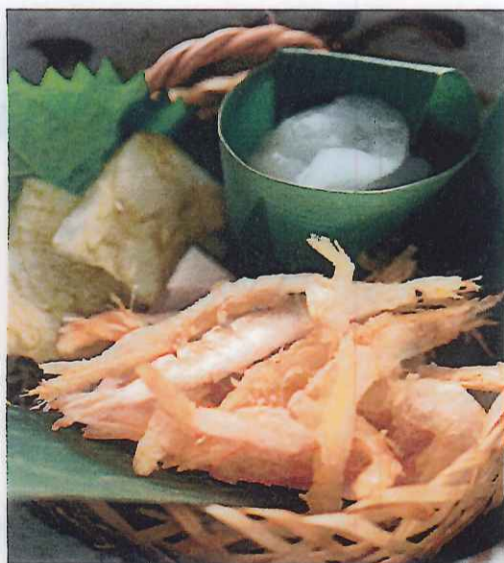


遊覧船で庄川を下れば、大自然のパノラマが目の前に

悠々と流れる庄川の兩岸に広がる手つかずの自然を眺めるなら、庄川峡遊覧船がおすすめ。いつの間にか自然と一体となっているような、心穏やかな時間が流れる。

泉質の異なる2色の源泉が一度に味わえるのも魅力

右・白く濁る庄川清流温泉。地下1300mの岩層層に貯留されている化石海水が湧き出てきたもので、美肌効果も高い。左・炭酸と鉄分を豊富に含んだ赤茶色の自家源泉「鳥越の湯」は傷を癒す温泉として古くから有名。



管理栄養士の監修のもと、750*¹に抑えられた「美人懐石」

左・野菜や海藻、豆類を中心に旬の魚や肉を盛り込んだ「美人懐石」は、ボリューム感がありながら750*¹というヘルシーさ。右・富山湾でとれる白えびのアレンジ料理(要予約)。

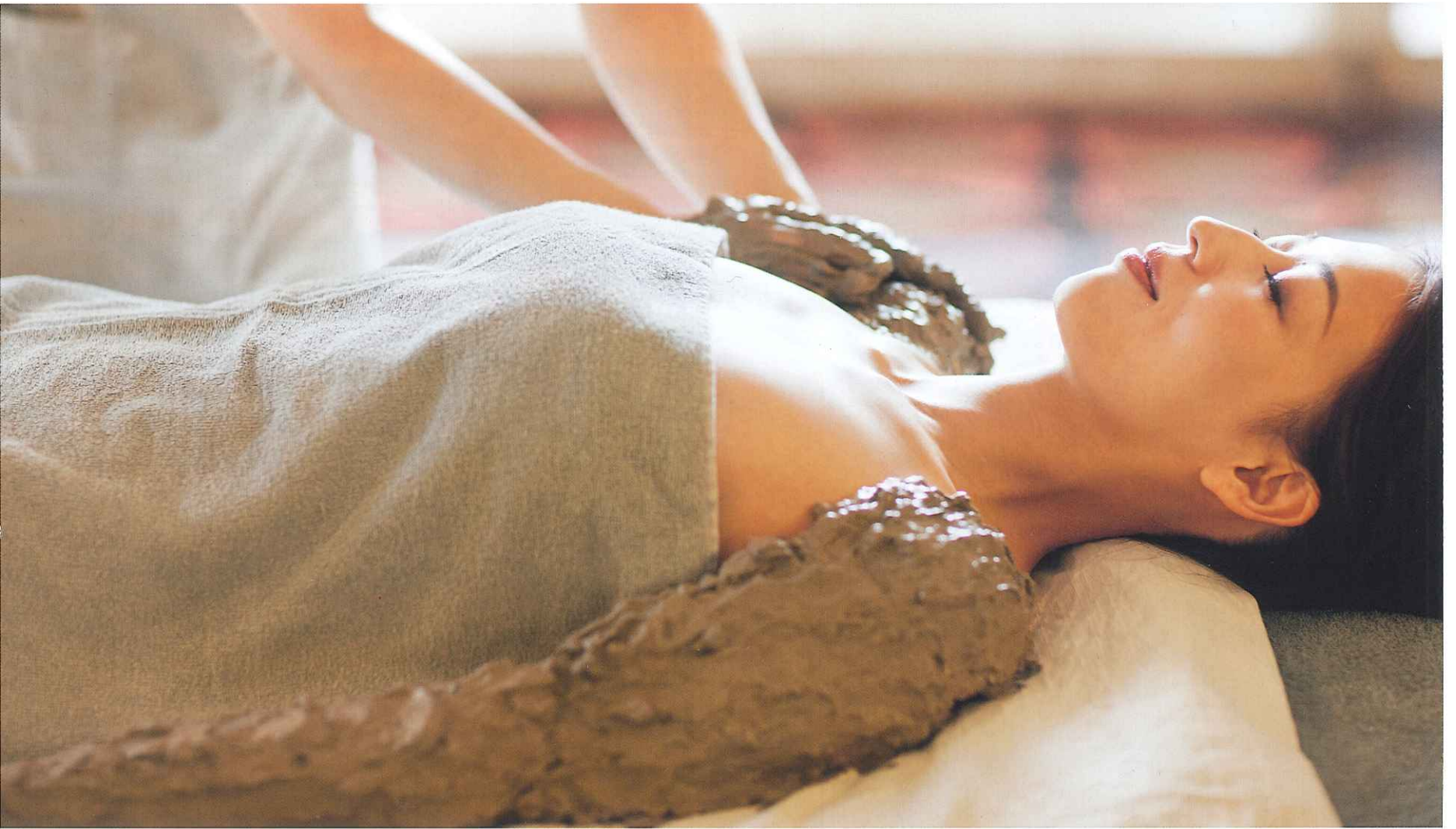




塗布した直後に発汗する 温泉泥セラピー

左・50度に加温された自家源泉に、3週間以上浸けたファンゴ。中・8kgのファンゴを背中、肩、腰、足、腕の関節など全身に塗布後、ビニールシートと毛布で全身を包み、20分間おくと、大量の汗が出る。右・ファンゴセラピー後は脂肪が柔らかくなり、エステとの相乗効果でサイズダウンも期待できる。

を温めた後は、甘味までいただいて七五〇キヨという「美人懐石」に舌鼓。「体の内と外から富山の自然を感じてほしい」という社長の坂井彦就さんが語るように、約二〇種の野菜を主役に、富山湾の活魚や庄川柚子などを使った料理は体の中から喜びを感じさせてくれます。ここは土地の恵みを体全体で享受できる宿なのです。



DATA

庄川温泉郷 鳥越の宿 三楽園

富山県砺波市庄川町金屋839 ☎0120-37-1260 <http://www.sanrakuen.com/>
ガーデンフロア露天風呂付き数寄屋造り客室
1泊2食付き(1室2名利用)1名2万6000円～

●スペシャルデトックスコース(120分)2万円
庄川ピオフィンゴセラピー(60分)+セルライト集中アロママッサージ(60分)
泉質/①炭酸水素塩泉 源泉かけ流し ②炭酸鉄泉 源泉かけ流し
効能/①美肌、便秘、冷え性、肩こり、神経痛、筋肉痛など
②切り傷、婦人病、皮膚病、神経痛、筋肉痛など



窓一面に広がる 庄川峡と山の絶景

懐かしい雰囲気を出しながらも西洋建築のデザイン性も取り入れた「ガーデンフロア」。冬には、雪が木々を隠す砺波嵐山の雄大な姿が窓一面に広がる。

「庄川ピオフィンゴ」の温熱効果を検証

「ファンゴはさら湯に比べ体温維持効果が高いことがわかりました」というのは、庄川ピオフィンゴの温熱効果を検証した大和田さん。また、ファンゴ施術後は+0.25度を維持しながら心拍数と血圧(収縮期・拡張期)に変化がほとんど見られないという。「ピオフィンゴは高齢者や虚弱体質のかたに最適の施術といえます」。

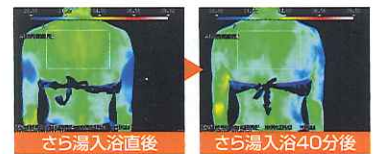


アセダント代表取締役

大和田瑞乃さん

イタリアのファンゴを研究し、日本の温泉における地産ファンゴの導入に取り組む。湯河原温泉まちづくり協議会顧問。

さら湯入浴とファンゴ施術の 皮膚表面温度の変化



サーモグラフィーの温度色を見ると、40分後のさら湯の体温低下は顕著。ピオフィンゴは体温上昇が見られる結果に。